

## 巻頭言



三重県知事 一見 勝之

# 誰もが尊重され、 参画・活躍できる社会をめざして

三重県では、人口減少等の様々な直面する課題への対応を進め、県民の皆さんが未来に希望を持ち、幸せを感じながら暮らすことのできる地域、そして、誰もが個性や能力を持つ個人として尊重され、参画・活躍できる社会をめざし、令和4年10月におおむね10年先を見据えた長期構想「強じんな美し国ビジョンみえ」及び実現に向けた中期戦略計画「みえ元気プラン」を策定しました。

「みえ元気プラン」では、「多文化共生の推進」を施策のひとつに掲げています。これまでも、多言語に対応した、みえ外国人相談サポートセンター（MieCo）の運営、三重県情報提供ホームページ（MieInfo）での多言語情報の発信、地域日本語教育の体制づくり、そして、災害時多言語支援センターの運営訓練など、外国人住民が安全で安心して生活ができる環境づくりに取り組んでまいりました。今後もこれらの経験を生かし、日本人住民と外国人住民の地域社会への参画を促進できるように、市町、事業者、市民団体等の各主体間のネットワーク強化に取り組めます。

三重県には、57,279人（令和4年12月31日現在）の外国人住民が暮らしています。グローバル化の進展等に伴い、県内外国人住民数はこの30年余りで5倍以上に増加しました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり令和2年以降は減少していましたが、令和4年は増加に転じ、過去最多となりました。また、県内総人口に占める外国人住民数は3.23%を占め、全国的にも高い割合になっています。在留外国人数は、この先も増加することが予想されており、ダイバーシティ&インクルージョンの重要性はますます高まるでしょう。

国籍や民族等の異なる人びとが、お互いの文化の違いを認め合い、地域社会の一員として共に笑顔で明るく暮らすことのできる三重をめざし、引き続き多文化共生社会づくりに取り組んでまいります。